

座間市青少年指導員協議会だより

きずな

第67号

発行日 令和7年3月31日

発行 座間市青少年指導員協議会

住所 座間市緑ヶ丘1-1-1

電話 046(252)8405

第39回座間市民ふるさとまつり 夢あふれる輝く未来ZAMA!

座間市最大のおまつりである「座間市民ふるさとまつり」が秋晴れの中、11月17日（日）座間中学校グラウンドで開催されました。当日の青少年指導員ブースは、昨年の座間中グラウンド南側入口から北側入口付近となり、人の動線的には良かったように思えました。

今年は、魚や人気キャラを発泡スチロール製のトレイに描くための「お絵描きコーナー」やそれを釣り上げる釣り堀は小さな子ども達でいっぱい、隣同士の釣り糸がからむ、いわゆるおまつり状態が多く見受けられるほどにぎわっていました。

子ども達に人気のスマートボールを昨年の倍の4台に増やしました。毎年スマートボールに熱中する子が多く、パーフェクト（9個ボールが入ること）を目指して4列の長蛇の列ができ、台を替えて何回もプレイする子ども達で大盛況でした。

次回も「子ども達に笑顔を！」を目指してがんばりますので、ぜひ会場にいらしてくださいね！



11月30日晴天のもと第31回ふれあいまつりを開催しました。名物の豚汁、フランクフルトに加えふれあい体験コーナーでは消防車の展示、消防服の試着、ゲームコーナーでは昔遊びやガチャポン、フリースローにディスクキャッチャー、ストラックアウト、缶バッジ製作に初挑戦して大奮闘の青少年指導員、そして相武台自治会より綿菓子の新規出店にぞまりん登場で大変賑やかなお祭りとなりました。座間中学校、相武台東・立野台両小学校の在校生はもちろん、親子やお年寄りの方々にも来場いただけるこのお祭りを毎年開催できるのは、実行委員会の皆さんが常に前向きに企画運営を考えている事に尽きると思います。プラスしてお手伝いいただく諸団体の皆さんが気持ちよく来場者を迎えてくれる事、会場になる座間中学校の先生方が設営も含めて積極的にサポートしてくれる事にあると思います。これからもこの連携を大切にして「楽しかった。美味しかった。来て良かった。」と言っていただけるようなふれあいまつりを開催してまいります。



西 中学校区

部活動体験

12月7日(土)

12月7日に開催された青少年フェスティバルは「部活動体験」。中学校ではどんな部活があり、どんな風に活動しているのか見て・体験します。

今年の参加は小学6年生78人。3つのグループに分かれ各部活を体験しました。寒さを吹き飛ばす子ども達の元気な声が学校中に溢れ、活気がありました。中学生も将来の後輩たちに部活動の紹介や楽しさを伝えるという予行練習にもなり、小学生も文化部・運動部をたくさん体験し、楽しく過ごしました。

カレーの食材が納品遅れというハプニングもありましたが、PT Aさん、指導員達の迅速な作業で美味しいカレーができました。今年のカレーも大好評で、おかわりする子もたくさんいました。

フェスティバルに携わってくださいました皆様、ありがとうございました。



東 中学校区

恒例の大鍋カレーで大満足！

12月1日(日)

12月1日快晴の抜けるような青空の下、東中学校区青少年フェスティバルを開催しました。今年もドッジボール大会は白熱した試合に歓声があがり、さらに先生の絶妙な実況放送もあり、大いに盛り上がりしました。例年通りのストラックアウト、スマートボールなどのゲームコーナーに、新しくキックターゲットとイライラ棒を追加しました。小学生や小さな子ども達が楽しんでいる様子は癒しです。

毎年大人気のはしご車試乗体験ですが、人数制限があるため体験できるのは厳しい確率です。お空の上から何が見えたかな？怖くなかったかな？東中名物の大鍋カレーは今回も絶好調！お米の高騰には泣かされましたが、参加者461人のお腹を無事満たすことができました。参加してくれた子ども達、生徒のみんなありがとう！そしてご協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。



栗原 中学校区 初めての平日開催！

12月24日(火)

今年度の栗原中学校区青少年フェスティバルは、12月24日(火)初の試みの平日に開催しました。平日開催ということで競技時間も短く、子ども達が集まるのか？との心配もありましたが、小・中学生合わせて180人もの子ども達が参加をしてくれて、どの競技も行列ができるほどの盛況ぶりでした。特にアルファ米の炊き出し体験は実演担当の口上がとても楽しく、集まった子ども達も実演に惹き込まれていました。ただ、競技時間が約1時間ということで、ボッチャやモルックなど盛り上がっている中終了ということが少し残念でした。参加してくれた子ども達には、栗原中学校のマスコットキャラクターである「くりまるくん」のクリアファイルとアルファ米の五目ご飯、コロクを配布しました。「美味しい」「おかわりないんですかぁ？」等の嬉しい声が聞けてよかったです。開催にあたり、ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。



相模 中学校区 参加者数440名

12月14日(土)

12月14日青空の下、相模中学校コミュニティ・スクールと相模中学校区青少年指導員との共催で開催されました。実施内容は、和太鼓演奏、一輪車演技、BMX競技、輪投げ、スカットボール、スマートボール等で、特にくつ飛ばしやスマートボールには、長蛇の列となり大盛況！

親子で楽しく参加する様子は例年どおりで、我々スタッフもその光景に達成感を感じました。また、今年は熱々の豚汁や五目ご飯を提供できることになり、あっという間に完食状態で、来校されたみなさんはきっと満足して帰られたと自負しております。また、来年もがんばりますのでぜひいらしてください。(スタッフ一同より)



南 中学校区 投げて、蹴って、飛ばして、笑顔のフェスティバル 12月8日(日)

12月8日晴れ渡った空の下、南中学校区青少年フェスティバルが盛大に開催されました。朝から200人近い児童・生徒が集まり、活気あふれる競技が繰り広げられました。グラウンドでは、昔遊びの竹馬が大人気。苦戦する子や軽快に乗りこなす姿が見られました。その他にもストラックアウト・キックターゲットなどで、自分の持てる力を発揮していました。体育館では、自分の作った紙ひこうきで飛距離を競う紙ひこうき飛ばしが行われ、小・中学生それぞれ上位5名が閉会式で決勝戦を競い、優勝者に景品が送られました。作る工夫と飛ばす技術が発揮された競技で、見る側もワクワクドキドキでした。そして、恒例の校長とのジャンケン大会。全員参加で大盛り上がり。フェスティバル終了後は、締めのカレータイムです。おかわり続出で、中学生の食欲に驚きでしたが、頼もしさも感じられます。実行委員会のスタッフや先生方、地域の人達の協力もあり素晴らしい一日となりました。



文化部研修会

8月31日(土)文化部研修「ワイヤークラフト体験」「座間の歴史講座」が開催されました。ワイヤークラフト講座では開始前から見本や講師の方に興味津々！いざ研修が始まると、まるで子どものように目を輝かせ、一人ひとり個性が溢れるワイヤー・ビーズ選び。思い通りにできないジレンマと戦いながらも完成した作品に「自画自賛」。笑顔あふれる研修になりました。

制作を楽しんだ後は市役所展望階へ移動し座間の歴史を学びました。講師の方ご協力いただいた皆さまありがとうございました。



座間市・大和市合同研修会

今年も昨年に引き続き、9月29日(日)に恒例の座間市・大和市青少年指導員協議会の二市合同研修会が大和市の文ヶ岡小学校で開催されました。この研修会はコロナ禍による3年間の中止を経て昨年度から再開されたものです。座間市24名と大和市20名の計44名の青少年指導員が、日々の活動による誇りを胸に笑顔で参加しました。校庭に出て、ニュースポーツのモルックという競技で8チームによるトーナメント戦を行い、大いに二市の交流が深まった研修会でした。



令和7年座間市成人式 ～二十歳のつどい～

1月13日(月)成人の日に晴天の下、令和7年座間市成人式～二十歳のつどい～がスカイアリーナ座間で開催されました。今年の新成人は1191人で、その内の830人が式典に参加しました。

式典では、市長より二十歳を迎えた皆さんへの激励の言葉があり、実行委員長の水多野龍斗さんは力強く二十歳の抱負を述べ、座間市出身のプロボクシング選手の井上尚弥さんからのビデオメッセージもありました。その後、恒例の抽選会が大盛況のうちにわれ、当選者たちは歓声を上げ終始和やかな雰囲気でした。

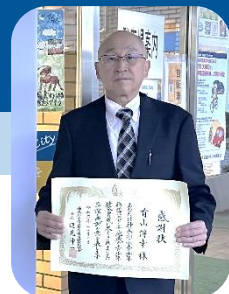


神奈川県青少年指導員表彰

- 令和6年11月10日(日)
- 相模原南市民ホール

座間中学校区 有山 博幸さん

この度表彰を頂けたことは大変光栄です。また何よりも地域の諸先輩や多くの仲間と共に楽しく活動が出来たことに大変感謝しております。
今後とも子ども達の笑顔をたくさん作れるよう頑張っていきたいと思います。



神奈川県青少年育成活動推進者表彰

- 令和7年2月11日(火)
- 神奈川県立青少年センター

東中学校区 佐藤 和夫さん

表彰ありがとうございます。これまでの活動を通じて大勢の人と交流ができました。また青少年指導員同士の支えがあり子ども達のために活動ができました。協力していただいた地域の皆様や学校関係者に感謝いたします。



きずなは、市のホームページからご覧いただけます。



編集後記

秋から始まる青少年フェスティバルは各中学校区の最大イベントです。今号では、それぞれの開催の様子を中心にお届けしました。フェスティバルを支えてくださった先生方やPTA・地域の皆様のご協力に感謝申し上げます。

〈きずな編集部 谷 芳生〉